

# 週刊 名古屋市議団ニュース ～南区版～



日本共産党 名古屋市議団

市会議員 高橋ゆうすけ事務所  
名古屋市南区氷室町15-13  
TEL 052(692)4312  
FAX 052(692)1466



## 若宮高校閉校？ 教育委員会が計画案示す

名古屋市会教育子ども委員会が8月31日に開催され、教育委員会から市立若宮商業高校の閉校案が提示されました。

教育委員会は「将来少子化が進み、生徒数が減る見込み」「校舎の老朽化対策費の不足」を理由に、「規模や施設の築年数などを総合的に検討した結果」として

若宮商業高校を閉校するとの説明がありました。現在、若宮商業高校は定員割れも起こしておらず、昨年度から新たな教育課程も導入したばかり。

なぜいきなり閉校になるのかわからないとの声も上がっています。子どもたちが必要な教育を受けられる環境を守るためにも、若宮商業高校の閉校は到底認められる者ではありません。

## 相生山緑地の整備は保留 土木交通委員会請願審査

相生山緑地（天白区）の整備に市民意見

見を反映させることを求める請願などについて、8月31日の土木交通委員会で審査しました。

審査の中で高橋からは、道路事業の廃止に向け、これまでどのような検討がなされてきたのか、入り込み交通対策はどうしていくのかなどを質問しました。今年中には計画案を策

定、来年度にも市民に意見を聞くとの回答があり、市民意見を反映させてほしいとの願いを議会としても尊重するために請願の採択を求めました。

請願は、現在当局が計画を策定しているところであり、慎重に審議が必要とのことで保留となりました。

## 大規模地震に備えて

### 南区総合防災訓練実施



名古屋市は9月3日、市内16区で総合防災訓練が行われました。南区では白水小学校にて様々な訓練が実施されました。

避難訓練の前半では、消防団や警察、土木事務所などによる災害対応訓練が行われました。

訓練の後半では、耐震補強実施前と実施後の木造建築住宅



委員会で質問する高橋（左列の手前から3人目が高橋）

の耐震性能の違いについて、実演を交えての確認や、避難所生活で大切なことについての保健所の講話などが行われ、参加した住民のみならずも真剣に話を聞いていました。

生活に関するご相談はお気軽に  
高橋ゆうすけ事務所まで

# 治安維持法を繰り返さない！ 国賠同盟名南支部が総会

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
(国賠同盟)の名南



国賠同盟名南支部総会であいさつをする高橋

支部は3日、映画と講演のつどいと総会を行い、高橋は来賓として出席しました。講演では、西田一廣国賠同盟愛知県本部長から治安維持法によって犠牲になられた方たちのことや、当時取り締まりをしていた側が感じていた危機感などのお話がありました。

を受けた方たちへの賠償も、人権回復もされていません。それどころか共謀罪など、治安維持法を彷彿させる法律が強行されています。高橋

は二度と戦前は戦時中のような社会にしななために、頑張っていくたいとあいさつしました。

## 釧路港など視察 名港議会

高橋は8月下旬、

釧路港や石狩湾新港などの状況を調査するため名古屋港管理組合議会の視察に参加しました。

釧路港は、名古屋港と同じく穀物の

「国際バルク戦略港湾」

(「バルク」とはバラ積み

貨物のこと)として指定さ

れ、現在整備が進められて

います。名古屋港と



輸船からとうもろこしを陸揚げ

は大きく異なる背後圏(酪農のための飼料としてのとうもろこし輸入)があること、今後の輸力量増加は見込んでいないことなど、今後の名古屋港の発展を考え

### 高橋ゆうすけ 市政等街頭報告予定

- 9月
  - 11日(月)鶴里
  - 14日(木)大同町
  - 21日(木)呼統
  - 25日(月)新瑞小橋
  - 28日(木)柴田
- ※7時30分〜8時

るうえで大事なことを学ぶことが出来ました。

### 高橋ゆうすけ 活動日誌

- 8月
- 25日(金)地域訪問
  - 26日(土)地域訪問
  - 27日(日)キャラバン宣伝/南民商行事
  - 28日(月)~30日(水)名港議会視察(北海道)
  - 30日(水)若宮商業高校廃校問題懇談
  - 31日(木)駅頭市政報告/公職者会議  
土木交通委員会
- 9月
- 2日(土)中小商工業全国交流・研究集会
  - 3日(日)南区総合防災訓練  
治安維持法国賠同盟名南支部総会
  - 4日(月)駅頭市政報告/市議団会議
  - 5日(火)生活相談

## ハッピー ついでと♪

「満蒙開拓平和記念館」

久しぶりのコラムのテーマは、私が今年のお盆に訪問した「満蒙開拓平和記念館」について。

実は私の父は1942年(昭和17年)8月に満州で生まれました。そのこともあって、一度は訪れてみたかった記念館。戦時中、国策によって満州へ行き、命を落とし、家族と引き裂かれることにもなった満蒙開拓。一方、中国の人たちによっていのちのちを助けられた人たちも。でも日本に帰ることもできなくなってしまった残留孤児。

日本では、中国人強制労働による長野県での平岡ダム建設。そして多くの中国人が日本で命を落としたこと。そしてそのことを知った阿智村の山本慈照氏の活動。様々なことを見て、聞いて、学んできました。

あまりにも学んだことが多く、ここでは書けないのが残念ですが、二度と同じ悲しみを繰り返させないためにも、語り継ぐことの大切さを改めて感じました。